

はじめに

本市では、小児救急病院への患者さんの集中を緩和し、小児救急医療体制の維持を図るため、平成24年4月に小児科の先生方のご協力のもと「大分市小児夜間急患センター」を開設し、夜間の救急患者の受け入れを行っています。

しかし、休日・夜間に急を要しないと思われる軽症の患者さんの受診が増えると、重篤な患者さんへの対応に遅れや支障が出る可能性があります。また、医療従事者の負担も増大するため、小児救急医療体制の維持が困難となっていくことも考えられます。

こうしたことから、市民の皆様には、通常の診療時間内での受診を心がけていただき、緊急やむを得ない場合を除き、時間外の診療を控えるなど「適正受診」にご理解とご協力をいただくことが必要です。

このたび、大分県医師会・大分県小児科医会の先生方のご協力をいただき、こどもの事故や発熱、嘔吐などのよくある症状ごとに、観察のポイントや家庭での対応を分かりやすくまとめた「小児救急ハンドブック(第6版)」を作成いたしました。

子どもさんの具合が悪くなったときに、様子を見ても良いのか、すぐに医療機関を受診した方が良いのかなど、ご家庭で判断する際の一助としていただければ幸いです。

結びに、平素より小児救急医療体制の維持にご尽力いただいております大分市連合医師会・大分市小児科医会と大分大学医学部小児科学講座の先生方に感謝申し上げますとともに、市民の皆様におかれましては、今後とも小児救急医療に対するご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和3年3月

大分市長 佐藤 樹一郎